

大変！ごみが！

荒らされてる！

カラス



ごみの散乱によるトラブル、相談が市に多数寄せられています。市街地に出される生ごみは、カラスの恰好のえさとなり、カラスが繁殖しやすい環境を作り出します。生ごみをカラスのえさにさせないように、次のことにご注意ください。



がごみを狙っています。

① ださない！

生ごみの量を減らす工夫をしましょう。
(水気を切る、食材の無駄をなくす)



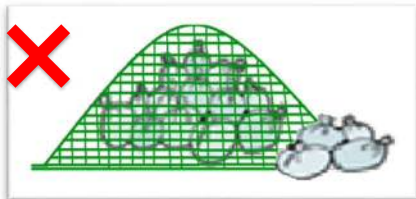
② みせない！

目がよいとされるカラスに、「みせない」工夫をしましょう。
(生ごみは新聞紙などで覆うなど)

③ よせつけない！

しっかりと覆われたごみに、カラスは近づきません。
カラス除けのネットは、正しく使いましょう。

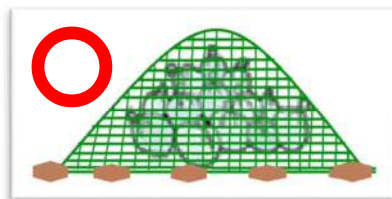
カラス除けネットを使用する際のポイント



⇒せっかくのネットも、ごみはみ出してしまっても効果がありません。大きくごみを包み込むようにかぶせましょう。



⇒ネットの目が大きすぎるのもNG。カラスは容易にごみを引き出してしまいます。



⇒ネットの周囲を砂を入れたペットボトルなどでしっかり固定します。カラスは、自分で動かせないことがわかるごみには近づきません。

※飲食店、各種自営業を含む事業者のみなさまへ

お仕事で出たごみは、地域のごみ収集所には出せません！

地域のごみ収集所は、**家庭の生活ごみの置き場**です。お仕事のごみは、事業者自らごみ処理施設に持ち込むか、廃棄物収集運搬業許可業者に運搬を依頼していただくことになっています。

回収されるまでは、ふた付きの容器や専用のネットを使用するなどして、カラスによるごみの飛散・流出、悪臭の発生を防ぎましょう。

建物内でごみを保管するのも効果的です。



収集運搬業許可業者と相談して、それぞれの事業所に合ったカラス対策をお願いします。

知って安心マメ知識



カラスが威嚇や攻撃をすることがあります！

4月～7月頃の繁殖期に限り、卵やヒナを守るため、巣の周辺に近づく人に対して、威嚇や攻撃をすることがあります。威嚇行動がみられる場合は、



①巣の近くを通らず迂回する

②帽子を被ったり傘を差したりする などの方法で被害を防いでください。



子育て中のカラスは大変警戒心が強く、じっと人間の様子をうかがう、木の枝を落とす、大声で鳴いて警告するなどのプロセスを経て、時には後方から足で頭を蹴るといった行動に移ることもあります。しかしながら、ケガを負うほどの攻撃はほとんどありません。こちらからむやみに危害を与えたり、追い回したりしないようにしましょう。

